

LOROSAE-TIMOR

東ティモールからの便り② 2024.6
青年海外協力隊 2023 年度 4 次隊 若森恵里:看護師

Botarde! Di'ak ka lae? (こんにちは、元気ですか?)

東ティモールでの生活が始まり早2ヶ月、配属先での活動が開始して1ヶ月経ちました。日々の気づきや変化がたくさんあるため一日一日があつという間に過ぎていきます。

日本では梅雨に入ったと聞きました。東ティモールは乾季と雨季に分かれており、現在は乾季のため暑さはありますが湿気もなくとても過ごしやすいです。徐々に気温が下がっていき8月はずっと涼しくなるんだとか。



【私の配属先】



この写真は私の配属先のディリ国立病院(Hospital Nacional Guido Valadares)です。小さいですが正面に見えるのが Emergency: 救急外来です。

東ティモールの建物は平屋建てが多くこの病院も平屋造りになっています。病棟がすべて独立しており病棟間をつなぐ廊下が張り巡らされているため、まるで迷路のような構造になっています。

国立病院での受診は国民であれば無料のため毎日多くの人が訪れます。また急性期を除く療養上の世話(食事介助、清拭、口腔ケアなど)は患者家族が行っています。日本とは違うこの医療体制に最初は驚きました。家族の訪問も制限がなく出入りが自由のため、病室や病棟外の廊下はごった返すように人が多いです。

もし私たちが大きな事故にあった場合、この国立病院に運ばれます。日本と同様に私立の病院は大きな処置と入院に対応していないからです。また医療費が高額になっていますがクレジットカードに対応していないので現金で支払う必要があります。万が一受診となった際は気をつけてくださいね。病院だけでなく東ティモールではほとんどカードが使えないですし、日本円の両替も出来ません。あ、私立の病院は使えるところが多いので安心してください。





【私の活動】

私は品質管理室という部署に配属されました。ここでは感染管理・感染防御に関することや、それに伴う病院全体のマニュアル管理だったり医療行為のチェックだったり、受診の際に必要なフォームの作成だったり行う業務は多岐にわたります。たまに会議に参加させてもらいますが、まだまだ言葉に慣れず理解できないことだらけです。病院にはオーストラリアの医療支援団体も在籍しているため、その方々との会議もあつたりします。現地語だけでなく英語も入り交じって話すためかなり混乱します。

少し病院内ラウンドを行いました、マニュアルを遵守して業務が出来ているとはいいがたい現状です。物資が満足になく、ないものはないで行ってしまっているため感染や安全を意識した行動がとれるような活動が出来たらと考えています。

【東ティモール人は楽しいことが大好き】



先日この管理部門の部長に当たる人の誕生日でした。そこに所属するスタッフが『サプライズ』といって休憩中にケーキの買い出しに行き、歌を歌いみんなでお祝いするということがありました。楽しいことやお祝い事が好きな国民性が垣間見えます。

ほかにも6月28日に病院の創立21周年記念式典が行われました。これに先駆けて2週間ほど前から各部署ごとに分かれたチーム対抗のスポーツイベントが開催されています。病院の敷地内にバレーやフットサルが出来るスペースがあるんですよ。14時頃から徐々に人が集まってくるんですが、日本人の感覚

からすると「仕事はいいの?」となってしまうんです。ですがいいんですね。さすが東ティモール。娯楽が少ないこともあってか集客と盛り上がりがすごいです。

私も所属する部署がある管理棟の人たちとともにダンス『Poco Poco』を披露しました。活動終了後毎日1時間ほど残って練習して、当日は衣装や髪型をそろえてダンスに臨みました。翌日いろんな人から「Kapas!」(excellentやwonderfulの意)と言われ嬉しくなりました。話したことのない人たちとも気軽に手をつなぎ、肩を組み笑い合える楽しい場所です。



【東ティモールの紹介① 移動手段】

さて、少しずつですが東ティモールのことも紹介させていただきますね。

これは『マイクロレット(通称ベモ)』と呼ばれる、いわゆるバスにあたる乗り物です。東ティモールには電車がなく車かバイクが移動手段の主流となっていますが、私たち隊員は車やバイクには乗れないのでこのベモに乗って市内を移動しています。私も毎朝ベモに乗って病院まで通勤しています。

ベモには1～13の路線があり各路線番号で車体の色が分かれています。特に停留所がないので乗りたいところで乗って降りたいところで降ります。手を出して乗りたいというアピールをして、降りたいときは運転手に聞こえるように何かしらの音を立てるといった感じです。大抵は車内の金属ポールをコインで鳴らしています。1回の乗車料金は25セントとかなり安いです。そして停留所がないように営業時間もふんわりとしていて、大体6時過ぎから19時くらいまでです。そのため夕方乗り逃してタクシーか徒歩で帰宅せざるを得ないこともあったりします。また安全に配慮してか助手席利用と入り口に乗り出して乗車できるのは男性のみとなっています。

客引きのためになかなか出発しなかったり、途中運転手がたばこや食事を買うために停車したりとかなり自由な運行をすることもありますね。



道いっぱいにある車とバイク。実は二車線の道路



私がよく乗る3番のベモ
涼しさを求めてか男性はよく入口に乗っている

ではまた次号でお目にかかりましょう！
Adeus!!